

## 令和2年度臨床獣医師防疫体制強化事業 講習会のご案内

近年、周辺諸国における家畜衛生状況は緊迫の度を増しており、口蹄疫は、中国、韓国、モンゴル、ロシアで発生が報告され、アフリカ豚熱は中国等においてまん延が拡大しており、国内においても平成4年以来26年ぶりに豚熱が発生し、死亡及び捕獲された野生のいのししの検査結果からも豚熱の陽性事例が確認されるなど緊迫した家畜衛生状況にあります。

これら緊迫している特定家畜伝染病等の防疫支援強化に不可欠な基礎臨床診療技術の早期習得と臨床現場で家畜伝染性疾病等に即応できる臨床診療技術水準の確保を図るとともに、第一次診療及び初期防疫措置を担う中堅産業動物診療獣医師に対する臨床診療技術の習得及び防疫措置支援の体制を充実し、防疫水準を向上維持することが必要となっています。

このため、公益社団法人中央畜産会では公益財団法人全国競馬・畜産振興会の助成を受けて令和2年度から3か年実施する臨床獣医師防疫体制強化事業の一環として、以下の通り講習会を実施いたします。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため動画の視聴による受講を実施することと致しました。

受講を希望される方は、ホームページ上の申込書（ワードファイル）をダウンロードし、必要事項を入力してワードファイルのままメールに添付してお申し込みください。

### 記

#### 1 講演内容

##### (1) 特定疾病等に関する防疫技術研修

内 容	講 師 等	講演時間
牛のヨーネ病の病性と診断 ① ②	動物衛生研究部門 細菌・寄生虫研究領域 ヨーネ病ユニット 主任研究員 永田 礼子	① 39分 ② 39分
牛伝染性リンパ腫の病性と診断 ① ②	動物衛生研究部門 ウイルス・疫学研究領域 牛ウイルスユニット ユニット長 畠間 真一	① 29分 ② 35分
鶏の海外伝染病の病性と診断 (高病原性インフルエンザ等)	動物衛生研究部門 越境性感染症研究領域 インフルエンザユニット ユニット長 内田 裕子	55分
豚の海外伝染病の病性と診断 ①豚熱 ②アフリカ豚熱	動物衛生研究部門 病態研究領域 病理ユニット 上級研究員 山田 学	① 66分 ② 55分
牛等の海外伝染病の病性と診断 (口蹄疫等) ① ②	動物衛生研究部門 越境性感染症研究領域 口蹄疫ユニット 上級研究員 森岡 一樹	① 34分 ② 47分
悪性伝染病の侵入防止と 輸出入検疫状況	農林水産省 動物検疫所 統括検疫管理官 小林 朋存	38分
家畜伝染病予防法 ～法の仕組みと法改正について～	農林水産省消費・安全局 動物衛生課 総務班 総括係長 鈴木 康介	38分

## (2) 特用家畜等に関する衛生管理技術研修

内 容	講 師 等	講演時間
めん羊の主な疾病と寄生虫管理 内科疾患を中心に	東京大学大学院農学生命科学研究科 動物医療センター 教授 猪熊 壽	61分
山羊の飼養衛生管理と取扱い ① ②	家畜改良センター 茨城牧場長野支場 種苗業務課 係長 岡部 健太郎	① 43分 ② 45分
ダチョウの飼養衛生管理について ① ②	東京農工大学共同獣医学科 獣医衛生学 教授 竹原 一明	① 49分 ② 35分
ニホンジカの生態と被害対策 ① ②	(国研)森林機構 森林総合研究所 関西支所 生物多様性研究グループ 主任研究員 八代田 千鶴	① 35分 ② 32分
イノシシの防除と資源としての 可能性について	農研機構 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域 鳥獣害グループ 上級研究員 平田 滋樹	43分

## (3) 家畜伝染病等危機管理対策強化講習会

内 容	講 師 等	講演時間
日本の家畜防疫の歴史 ① ②	(公社)中央畜産会 参与 小倉 弘明	① 29分 ② 42分
飼養衛生管理基準について	農林水産省消費・安全局 動物衛生課 課長補佐(病原体管理班担当) 古庄 宏忠	40分
特定家畜伝染病防疫指針の改正	農林水産省消費・安全局 動物衛生課 課長補佐(防疫企画班担当) 青山 葉子	17分
防疫作業及び移動式レンダリング装 置の 設置・運営について	農林水産省消費・安全局 動物衛生課 課長補佐(防疫業務班担当) 下平 浩己	12分
牛の肺炎 -原因細菌と薬剤感受性動向- ① ②	農研機構動物衛生研究部門 疾病対策部長 勝田 賢 細菌・寄生虫研究領域ヨーネ病ユニット 主任研究員 上野 勇一	① 59分 ② 54分
搾乳牛の職業病『乳房炎』の日本の 現状と乳房炎防除のための農研機構 動物衛生研究部門における研究 ① ②	農研機構動物衛生研究部門北海道研究拠点 北海道研究調整監 林 智人	① 46分 ② 48分
イノシシの農場への侵入防止および 捕獲等の注意点について	農研機構 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域 鳥獣害グループ 上級研究員 平田 滋樹	79分

## 2 対象者

産業動物獣医師であって、海外悪性伝染病等の病性、防疫措置に関する技術の向上に意欲のある者としてします。

### 3 申し込み方法

中央畜産会ホームページ上より申込書（ワードファイル）をダウンロードし、必要事項を入力してワードファイルのまま添付して、必ずメールで ([eisei@sec.lin.gr.jp](mailto:eisei@sec.lin.gr.jp)) まで送付してください。

受講希望者には、講義資料とパスワードを送付します。同時に返信用封筒とアンケート用紙を送付しますので、受講後は必ずご記入の上返送してください。

動画の公開は令和2年12月15日（火）から令和3年2月15日（月）まで、アンケートの返送は同2月19日（金）投函までとします。

(1) 第1期募集

令和2年12月15日（火）までメール到着分

(2) 第2期募集

令和3年1月8日（金）までメール到着分

(3) 第3期募集

令和3年1月20日（水）までメール到着分

(連絡先)

公益社団法人中央畜産会衛生指導部（見學）

TEL 03-6206-0835 FAX 03-3256-9311

メール：[eisei@sec.lin.gr.jp](mailto:eisei@sec.lin.gr.jp)